

(6) 実用発電用原子炉施設における放射性廃棄物管理の状況

発電所名	放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物				放射性固体廃棄物				
		放射性気体廃棄物		放射性液体廃棄物(3Hを除く) (Ci)	ドラム缶 発生量 (本)	その他の 種類の 発生量 (本相当)	ドラム缶 の累 積保 管量 (本)	その他の 種類の 累 積保 管量 (本相当)	貯蔵設 備の容 積量 (本相当)
		放射性 希ガス (Ci)	放射性 ヨウ素 [¹³¹ I] (Ci)						
日本原子力発電(株) 東海発電所	原子炉施設合計	³ 7.0×10	⁻⁵ 2.2×10	⁻⁴ 8.5×10	648	388	*4 136	*4 236	約1,600
	年間放出 管理目標値	⁴ 1.6×10	-	1					
日本原子力発電(株) 東海第二発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	*2 N.D.	*3 N.D.	1,552	576	*5 33,374	*6 9,308	約73,000
	年間放出 管理目標値	⁴ 3.9×10	⁰ 1.6×10	1					
日本原子力発電(株) 敦賀発電所	原子炉施設合計	⁻¹ ^{*2} 1.6×10	N.D.	⁻⁴ 3.0×10	5,509	1,232	*7 28,905	8,816	約85,000
	年間放出 管理目標値	⁴ 7.9×10	⁰ 2.5×10	2					
東北電力(株) 女川原子力発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	⁻⁵ ^{*3} 1.0×10	N.D.	1,480	0	6,236	0	約15,000
	年間放出 管理目標値	⁴ 3.8×10	⁰ 2.3×10	0.1					
東京電力(株) 福島第一原子力発電所	原子炉施設合計	⁻¹ 1.1×10	⁻³ ^{*3} 1.1×10	N.D.	4,467	0	*8 247,321	150	約298,500
	年間放出 管理目標値	⁵ 2.4×10	¹ 1.3×10	6					
東京電力(株) 福島第二原子力発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	*2 N.D.	*3 N.D.	1,717	0	*9 10,276	0	約32,000
	年間放出 管理目標値	⁵ 1.5×10	⁰ 6.4×10	4					
東京電力(株) 柏崎刈羽原子力発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	*2 N.D.	*3 N.D.	362	0	2,034	0	約15,000
	年間放出 管理目標値	⁴ 3.2×10	⁰ 1.6×10	1					
中部電力(株) 浜岡原子力発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	⁻⁵ 1.3×10	⁻⁴ 3.3×10	1,174	1,220	*10 24,749	4,412	約42,000
	年間放出 管理目標値	⁵ 1.1×10	⁰ 7.4×10	3					
中国電力(株) 島根原子力発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	*2 N.D.	⁻⁴ 1.6×10	1,650	387	*11 20,059	*12 1,450	約35,500
	年間放出 管理目標値	⁴ 6.9×10	⁰ 3.6×10	1					

*1 検出限界濃度は 5×10^{-7} ($\mu\text{Ci}/\text{Cm}^3$) 以下である。

*2 検出限界濃度は 2×10^{-13} ($\mu\text{Ci}/\text{Cm}^3$) 以下である。

*3 検出限界濃度は 5×10^{-7} ($\mu\text{Ci}/\text{Cm}^3$) 以下である。(60Coで代表した。)

*4 東海第二発電所への移送分を除く。

*5 東海発電所からの搬入分(11,454本)を含み、今年度焼却分(2,676本)を差し引いた量である。

*6 東海発電所からの搬入分(5,316本相当)を含む。

*7 今年度焼却分(2,792本)を差し引いた量である。

*8 今年度焼却分(4,344本)を差し引いた量である。

*9 今年度焼却分(420本)を差し引いた量である。

*10 今年度焼却分(1,750本)を差し引いた量である。

*11 今年度焼却分(836本)を差し引いた量である。

*12 今年度圧縮減容量(454本相当)を差し引いた量である。

* 前年度末累積保管量に当該年度発生量を加えた量と一致しないのは、換算後の端数処理による誤差である。

発電所名	放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物				放射性固体廃棄物				
		放射性気体廃棄物		放射性液体 廃棄物 (3Hを除く) (Ci)	ドラム缶	その他の	ドラム缶	その他の	貯蔵設備 の容 量 (本相当)
		放射性 希ガス (Ci)	放射性 よう素 [¹³¹ I] (Ci)		発 生 量 (本)	種 類 の 発 生 量 (本相当)	累 積 保 管 量 (本)	種 類 の 累 積 保 管 量 (本相当)	
北海道電力(株) 泊発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	*2 N.D.	*3 N.D.	0	0	0	0	約18,000
	年間放出 管理目標値	4 1.6×10^4	-1 1.6×10^4	1					
関西電力(株) 美浜発電所	原子炉施設合計	0 7.4×10^4	-5 3.5×10^5	-4 5.6×10^4	1,282	128	*4 22,544	2,082	約35,000
	年間放出 管理目標値	4 5.9×10^4	0 2.0×10^4	3					
関西電力(株) 高浜発電所	原子炉施設合計	1 3.1×10^4	-4 5.3×10^4	*3 N.D.	1,767	181	*5 27,927	563	約50,600
	年間放出 管理目標値	4 9.0×10^4	0 1.7×10^4	4					
関西電力(株) 大飯発電所	原子炉施設合計	1 2.5×10^4	-3 1.5×10^4	-6 5.7×10^4	821	212	*6 15,409	2,053	約28,900
	年間放出 管理目標値	4 7.3×10^4	0 2.2×10^4	2					
四国電力(株) 伊方発電所	原子炉施設合計	-1 1.7×10^4	*2 N.D.	*3 N.D.	1,409	16	*7 7,604	*8 1,747	約18,500
	年間放出 管理目標値	4 3.0×10^4	0 2.0×10^4	2					
九州電力(株) 玄海原子力発電所	原子炉施設合計	1 2.9×10^4	*2 N.D.	*3 N.D.	628	178	*9 12,754	1,659	約19,000
	年間放出 管理目標値	4 3.0×10^4	0 2.0×10^4	2					
九州電力(株) 川内原子力発電所	原子炉施設合計	-1 9.7×10^4	*2 N.D.	*3 N.D.	991	6	*10 2,313	23	約17,000
	年間放出 管理目標値	4 4.4×10^4	0 1.7×10^4	2					

*1 検出限界濃度は 5×10^{-7} ($\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$) 以下である。

*2 検出限界濃度は 2×10^{-13} ($\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$) 以下である。

*3 検出限界濃度は 5×10^{-7} ($\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$) 以下である。(^{60}Co で代表した。)

*4 今年度焼却分(49本)を差引いた量である。

*5 今年度焼却分(758本相当)を差引いた量である。

*6 今年度焼却分(565本)を差引いた量である。

*7 今年度焼却分(1,005本)を差引いた量である。

*8 今年度圧縮減容器(17本相当)を差引いた量である。

*9 今年度焼却分(1,536本)を差引いた量である。

*10 今年度焼却分(238本)を差引いた量である。

* 前年度未累積保管量に当該年度発生量を加えた量と一致しないのは、換算後の端数処理による誤差である。